

創立20周年に寄せて ～あの頃を振り返って～



初代会長 岡 部 和 子
(平成12年度～13年度)

1990 年以降日立市は地元企業の不景気と重なって人口流出が拍車をかけ街のメイン通りが活気を失っていました。若年層の地元離れを心配した市は元気を取り戻そうと対策に苦慮していました。同様に市民も行動への意識が高まり、市の要請に応じた活動への参加者が増えてきました。私も久々に女性センターを訪れ、自分に出来る活動を捜していたところ、県の女性施策の「ローズプラン」で先進地ヨーロッパの視察研修をセンター長に紹介され、応募し、参加しました。この体験が地元日立市での市民活動へのきっかけとなりました。当時を振り返ると自分でも呆れるほど多くの活動に加わり、様々な貴重な体験をさせて戴きました。

1999年に、日立市の施策として「女性大学」が開校され、市への提言書を作成する機会を与えられました。提言の内容は文化・福祉・環境と3グループに分かれ、私たち文化班は多賀メイン通りの清和館跡地問題を、福祉班は子どもセンター設置の件を、環境班は放置自動車撤去の件など、それぞれ重要な喫緊の対策を提言しました。市は驚く程早く、3件とも解決して下さいました。翌年の女性大学終了後、1期生の有志で「日立女性フォーラム」を発足しました。私たちは、この会の長期的な活動の継続を願い、会長他役員の任期を2年として全員が責任を持って共同で行い、負担なく楽しく活動していくことを合意しました。

活動開始の1年目は、地元商店街の活性化を目標にタウンマップ作りから始めました。その過程で、多賀商店主の皆様と話し合う機会をもち、会合を重ねました。街を元気にしたいという共通の思いから商店主の皆様の御協力を得て、街路樹のナンキンハゼ祭りや清和館でのお雛様イベントなど楽しい行事を、女性フォーラム主催で行いました。

その後、女性フォーラムへの入会者を得て、役員のバトンをつないで20年という歳月が流れました。今や当会から2人の女性市議会議員を輩出し、有識者の方々も入会して、パワー溢れる日立女性フォーラムに成長しています。

10年前、私の活動を支援し協力を惜しまなかった夫が他界して、夫の事業を受け継いだ時、全力で責任を果たす必要から止む無く女性フォーラムを退会致しましたが、今後も会の発展を願って見守っていきたいと思っております。

最後になりましたが、日頃から当会をはじめ、日立の女性たちの活動を支え御指導下さっているらぼーる協会、及び女性センター長はじめスタッフの皆様には心よりお礼申し上げます。また、女性フォーラムの創立に御尽力頂いた亡き塙ちゑ子氏の御冥福を祈り、御霊前にこの創立20周年の記念誌を捧げます。